

私の作品

■ 教科 美術 ■ 単元名 Keynoteを活用し、作品を発表しよう

■ 本時のねらい

作品プレゼンテーションを作成し、それを使ってタブレットを用いた発表ができる。

■ 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

アプリkeynoteを活用し、お互いの作品を鑑賞し、良かったところを振り返る。

■ 活用したict機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・ペンシル端末 ・拡大用テレビ

■ 本時の展開

学習の流れ	主な学習内容と活動	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○めあての確認。 ○ペンシル端末、Keynoteの操作方法を確認する。	○操作方法を復習し、前時の経験を思い出させる。
展開 (40分)	○ペンシル端末を活用し、感想文を書く。【写真1】 ○前回Keynoteで作成した発表用のプレゼンテーションを活用し、発表を行う。【写真2、3】 ○鑑賞者が作品に感じたことを意見する。	○感想文を書く際、制作過程を振り返るとともにペンシル端末の操作に慣れる。 ○Keynoteで背景と自身の作品を合成させ、ライブビデオ機能を用いて臨場感を味わうことで、活動への意欲が期待できる。 ○発表者（作者）と作品への注目を促すとともに、発表者と鑑賞者が楽しいので取り組み意見しあえるようにする。
まとめ	○本時の振り返りを行う。 ○次時の内容を確認する。	



写真 1：作品制作の感想の発表時。作品の中に作者が映ってる様子



写真 2
作成した立体作品



写真 3
発表の様子

■ 生徒の反応や変容

画面越し作品の中に作者が登場することで、発表者の緊張もほぐれ、楽しんで作品や感想を発表することができた。また鑑賞者も興味をもって話を聞いたり、作品に注目したりすることができた。

■ 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Keynote（apple純正アプリ）を美術の教科に用いたことで、Keynoteに関する知識や技能の習得とともに、様々な教科での活用方法、表現方法があることを改めて知ることができた。
- ・ライブビデオ機能の画期的な活用方法で、教科での活用の幅と表現方法の幅を広げることができた。